

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日：令和6年5月28日

部局等名	市民部	課かい名	市民課	推進責任者氏名	松岡 俊子
------	-----	------	-----	---------	-------

(1)目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減
------	-----------------------

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」(実行計画P10～11)の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	A. エネルギー使用量の削減	執務スペースに端末類等の発熱原が多いことから、内気温にも勘案して、積極的に服装での調整をした。
	具体的内容	クールビズ・ウォームビズを励行し、外気温に応じた服装や過ごし方の工夫をする。	
2	取組項目	B. 資源の有効利用	Logoチャットを積極的に活用、照会文書等もチャットで要回答の情報を流し、対応の漏れをなくすようにした。紙の両面印刷や裏面利用は徹底して、今後も続けていく。
	具体的内容	課内での資料等には両面印刷や裏面を利用し、Logoチャットの活用等で紙の使用枚数を削減する。	
3	取組項目	C. 廃棄物の削減	物品購入について、計画的に行い余剰減に努めた。また、令和6年3月に閉鎖した施設名が記載された帳票類があるが、見え消し対応でできる限り6年度も使用していくことで、廃棄を増やさないようにする。
	具体的内容	業務に使用する事務用品は計画的に購入し、在庫管理を徹底して余剰在庫を防ぐ。	

【対象：グループ2(所管施設のある課かい)】 ※算定範囲は所管施設全て(グループ4(市立小中学校)、グループ5(指定管理施設)を含む)

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

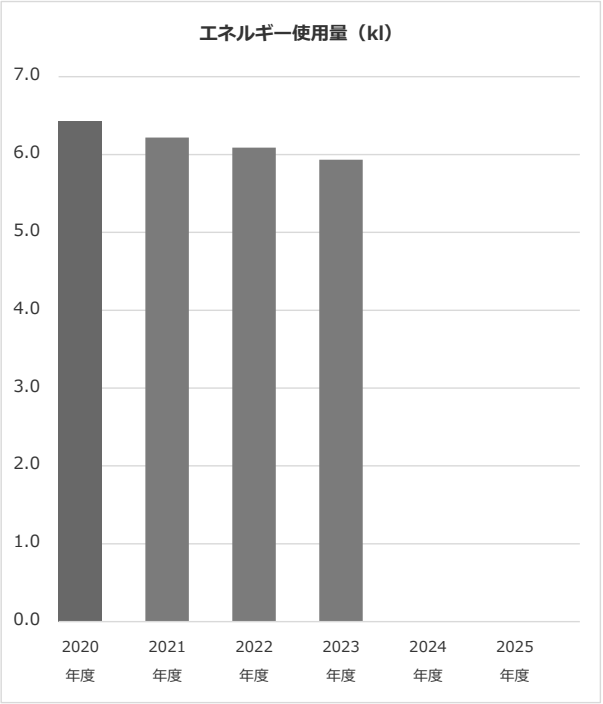
実績	前年度比	-2.5 %	達成状況	■ 達成
達成/未達成の理由	(※出先機関については別ファイルで報告)			

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量(GJ)	249.0	241.0	236.0	230.0		
エネルギー使用量(kl)	6.4	6.2	6.1	5.9	0.0	0.0
対前年度比(%)	—	-3.2%	-2.1%	-2.5%	—	—

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組(実行計画P8)

No.	対象施設	計画／実施状況	
1	香川駅前出張所	計画	空調フィルターの清掃を2回/年実施する。
		実績	空調フィルターの清掃を2回/年実施した。
2	辻堂駅前出張所	計画	空調フィルターの清掃を2回/年実施する。
		実績	空調フィルターの清掃を2回/年実施した。
3		計画	
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

(2)職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	6月15日開催の課長及び係長級職員による会議内にて実施。令和5年度の目標について検討し設定した。設定目標の内容は各担当内で共有することとした。
法令遵守確認研修	■ 実施	辻堂駅前及び香川駅前出張所についてフロン排出抑制法の概要について前年に引き続き周知を行い、職員間での共有を図った。
新任・異動者研修	■ 実施	対象職員に課長補佐及び所長より市民課の取組目標についての周知を行った。
	(選択してください)	

(3)指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
☐ 関係する指定管理者・委託業者はない		
☐ 要望伝達・協力要請が実施されている		
☐ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4)公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
☐ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った		
☐ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日 令和 6年 5月28日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
エネルギー使用量については、所管施設における取り組みもあり、課として全庁目標達成に向けて寄与できた。チャット活用により、多くの職員が同時期に情報確認できることで、事務効率化の効果も出ている。また、本庁や出張所で各々取り組みを行い、結果として、資源活用や廃棄物の削減を実施できていると考える。	本課は端末等が多いことから、使用頻度等を確認し、必要に応じて電源を切り切りできるものや時間帯を見直し、エネルギー使用量削減に努める。書かない窓口の開始によって、手書き申請書類は減っているが、聞き取り後の申請書に代わっているので、代用となる紙類の必要数等を精査した上で、計画的購入に反映させていく。

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日: 令和6年5月27日

部局等名	市民部	課かい名	市民課 辻堂駅前出張所	推進責任者氏名	牧野 譲治
------	-----	------	-------------	---------	-------

(1) 目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減
------	-----------------------

【対象: 全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」(実行計画P10～11)の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	A. エネルギー使用量の削減	服装での調整や、窓の開閉による執務空間の換気調整、またサーキュレーターを使用することによりエアコンを効率よく使用するよう心掛けた。
	具体的内容	クールビズ・ウォームビズを励行し、外気温に応じた服装や過ごし方の工夫をする。	
2	取組項目	B. 資源の有効利用	個人情報の無いものは、内部資料であれば積極的に裏紙利用を行った。また、所内の周知については、紙供覧を極力無くし、Logoチャットグループを作成し、電子媒体にて行うことに努めた。
	具体的内容	課内での資料等には両面印刷や裏面を利用し、Logoチャットの活用等で紙の使用枚数を削減する。	
3	取組項目	C. 廃棄物の削減	事務用品については、在庫管理を適切に行い、必要な数量を精査しながら無駄の無いよう購入するよう心掛けた。また、細かい用品については、本庁とも連携しながら、利活用に努めた。
	具体的内容	業務に使用する事務用品は計画的に購入し、在庫管理を徹底して余剰在庫を防ぐ。	

【対象: グループ2(所管施設のある課かい)】 ※算定範囲は所管施設全て(グループ4(市立小中学校)、グループ5(指定管理施設)を含む)

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

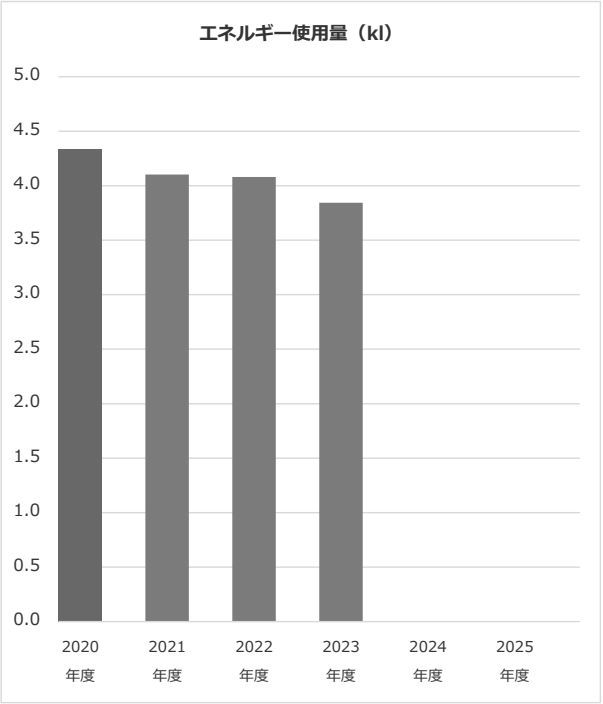
実績	前年度比	-5.8 %	達成状況	■ 達成
達成/未達成の理由	服装での調整、窓の開閉による換気、サーキュレーター使用によるエアコンの効率的な使用、が省エネに寄与したと考察する。			

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量(GJ)	168.0	159.0	158.1	149.0		
エネルギー使用量(kl)	4.3	4.1	4.1	3.8	0.0	0.0
対前年度比(%)	—	-5.4%	-0.6%	-5.8%	-100.0%	#DIV/0!

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組(実行計画P8)

No.	対象施設	計画／実施状況	
1	辻堂駅前出張所	計画	空調フィルターの清掃を2回/年実施する。
		実績	空調フィルターの清掃を2回/年実施した。
2		計画	
		実績	
3		計画	
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

(2)職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	6月15日開催の課長及び係長級職員による会議内にて実施。令和5年度の目標について検討し設定した。設定目標の内容は各担当内で共有することとした。
法令遵守確認研修	■ 実施	フロン排出抑制法に基づいて空調設備の点検が必要である旨の周知を行った。
新任・異動者研修	■ 該当なし	
	(選択してください)	

(3)指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
☐ 関係する指定管理者・委託業者はない		
☐ 要望伝達・協力要請が実施されている		
☐ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4)公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
☐ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った		
☐ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日 令和6年5月27日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
エネルギー使用量については、所管施設における取り組みもあり、課として全庁目標達成に向けて寄与できた。チャット活用により、多くの職員が同時期に情報確認できることで、事務効率化の効果も出ている。また、本庁や出張所で各々取り組みを行い、結果として、資源活用や廃棄物の削減を実施できていると考える。	本課は端末等が多いことから、使用頻度等を確認し、必要に応じて電源を切り切りできるものや時間帯を見直し、エネルギー使用量削減に努める。書かない窓口の開始によって、手書き申請書類は減っているが、聞き取り後の申請書に代わっているのが、代用となる紙類の必要数等を精査した上で、計画的購入に反映させていく。

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日：令和6年5月27日

部局等名	市民部	課かい名	市民課 ハマミーナ出張所	推進責任者氏名	後藤 篤志
------	-----	------	--------------	---------	-------

(1)目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減
------	-----------------------

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」(実行計画P10～11)の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	A. エネルギー使用量の削減	執務スペースに端末類等の発熱原が多いことから、内気温にも勘案して、積極的に服装での調整をした。
	具体的内容	クールビズ・ウォームビズを励行し、外気温に応じた服装や過ごし方の工夫をする。	
2	取組項目	B. 資源の有効利用	Logoチャットを積極的に活用、照会文書等もチャットで要回答の情報を流し、対応の漏れをなくすようにした。紙の両面印刷や裏面利用は徹底して、今後も続けていく。
	具体的内容	課内での資料等には両面印刷や裏面を利用し、Logoチャットの活用等で紙の使用枚数を削減する。	
3	取組項目	C. 廃棄物の削減	物品購入について、計画的に行い余剰減に努めた。また、令和6年3月に閉鎖した施設名が記載された帳票類があるが、見え消し対応でできる限り6年度も使用していくことで、廃棄を増やさないようにする。
	具体的内容	業務に使用する事務用品は計画的に購入し、在庫管理を徹底して余剰在庫を防ぐ。	

【対象：グループ2(所管施設のある課かい)】 ※算定範囲は所管施設全て(グループ4(市立小中学校)、グループ5(指定管理施設)を含む)

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

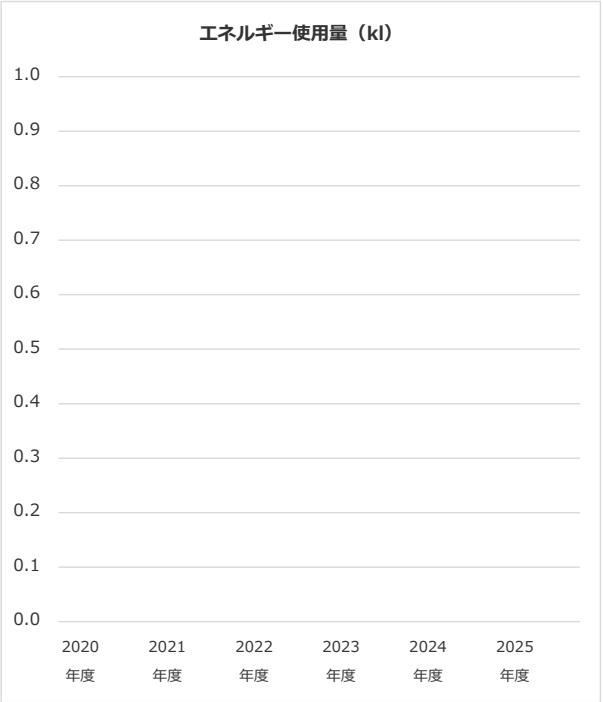
実績	前年度比	%	達成状況	(選択してください)
達成/未達成の理由	(※該当なし)			

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量(GJ)						
エネルギー使用量(kl)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
対前年度比(%)	—	—	—	—	—	—

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組(実行計画P8)

No.	対象施設	計画／実施状況	
1		計画	
		実績	
2		計画	
		実績	
3		計画	
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

(2)職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	6月15日開催の課長及び係長級職員による会議内にて実施。令和5年度の目標について検討し設定した。設定目標の内容は各担当内で共有することとした。
法令遵守確認研修	■ 該当なし	
新任・異動者研修	■ 該当なし	
	(選択してください)	

(3)指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
☐ 関係する指定管理者・委託業者はない ☐ 要望伝達・協力要請が実施されている ☐ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4)公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
☐ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った ☐ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日 令和6年5月27日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
エネルギー使用量については、所管施設における取り組みもあり、課として全庁目標達成に向けて寄与できた。チャット活用により、多くの職員が同時期に情報確認できることで、事務効率化の効果も出ている。また、本庁や出張所で日々取り組みを行い、結果として、資源活用や廃棄物の削減を実施できていると考える。	本課は端末等が多いことから、使用頻度等を確認し、必要に応じて電源を切り切りできるものや時間帯を見直し、エネルギー使用量削減に努める。書かない窓口の開始によって、手書き申請書類は減っているが、聞き取り後の申請書に代わっているのが、代用となる紙類の必要数等を精査した上で、計画的購入に反映させていく。

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日：令和6年5月27日

部局等名	市民部	課かい名	市民課 香川駅前出張所	推進責任者氏名	高橋 郷司
------	-----	------	-------------	---------	-------

(1)目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減
------	-----------------------

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」(実行計画P10～11)の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	A. エネルギー使用量の削減	クールビズ・ウォームビズを励行し、夏場はアロハシャツ着用、冬場はヒートテック着用等、気温に応じ、服装での調整を行った。
	具体的内容	クールビズ・ウォームビズを励行し、外気温に応じた服装や過ごし方の工夫をする。	
2	取組項目	B. 資源の有効利用	所内での資料等には、両面印刷や再利用紙の裏面を利用するとともに、Logoチャットの活用等で紙の使用枚数を削減した。
	具体的内容	課内での資料等には両面印刷や裏面を利用し、Logoチャットの活用等で紙の使用枚数を削減する。	
3	取組項目	C. 廃棄物の削減	業務に使用する事務用品は適切に在庫管理を行い、物品購入を計画的に行うことで余剰在庫を減らすように努めた。
	具体的内容	業務に使用する事務用品は計画的に購入し、在庫管理を徹底して余剰在庫を防ぐ。	

【対象：グループ2(所管施設のある課かい)】 ※算定範囲は所管施設全て(グループ4(市立小中学校)、グループ5(指定管理施設)を含む)

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

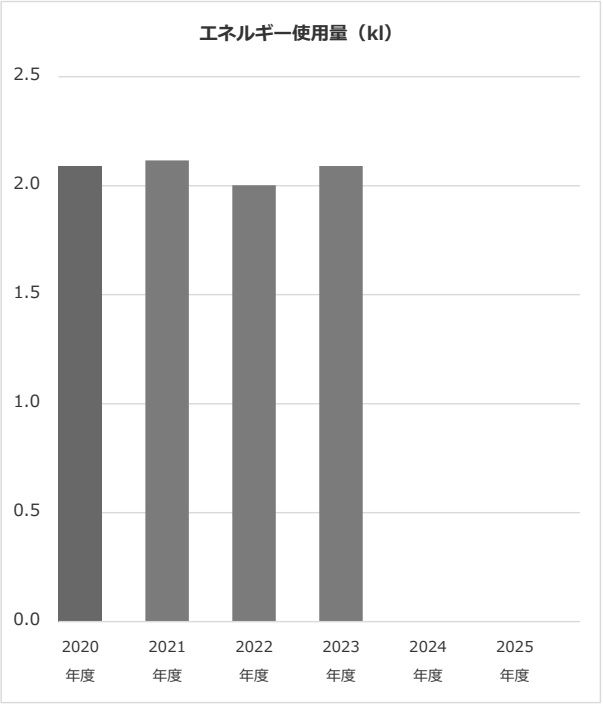
実績	前年度比	4.4 %	達成状況	■ 未達成
達成/未達成の理由	2022年度は原油価格の高騰による電気料金の上昇等もあり、通常実施している環境に配慮した施設運営の推進に加え、かなり我慢した節電対応を行った部分もあった。2023年度のエネルギー使用量は2020年度、2021年度とほぼ同様だったものの、前年度比としては増となった。			

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量(GJ)	81.0	82.0	77.6	81.0		
エネルギー使用量(kl)	2.1	2.1	2.0	2.1	0.0	0.0
対前年度比(%)	—	1.2%	-5.4%	4.4%	-100.0%	#DIV/0!

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組(実行計画P8)

No.	対象施設	計画／実施状況	
1	香川駅前出張所	計画	空調フィルターの清掃を2回/年実施する。
		実績	空調フィルターの清掃を2回/年実施した。
2		計画	
		実績	
3		計画	
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

(2)職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	6月15日開催の課長及び係長級職員による会議内にて実施。令和5年度の目標について検討し設定した。設定目標の内容は各担当内で共有することとした。
法令遵守確認研修	■ 実施	フロン排出抑制法に基づいて空調設備の点検が必要である旨の周知を行った。
新任・異動者研修	■ 該当なし	
	(選択してください)	

(3)指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
☐ 関係する指定管理者・委託業者はない ☒ 要望伝達・協力要請が実施されている ☐ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4)公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
☐ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った ☐ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日 令和6年5月27日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
エネルギー使用量については、所管施設における取り組みもあり、課として全庁目標達成に向けて寄与できた。チャット活用により、多くの職員が同時期に情報確認できることで、事務効率化の効果も出ている。また、本庁や出張所で各々取り組みを行い、結果として、資源活用や廃棄物の削減を実施できていると考える。	本課は端末等が多いことから、使用頻度等を確認し、必要に応じて電源を切り切りできるものや時間帯を見直し、エネルギー使用量削減に努める。書かない窓口の開始によって、手書き申請書類は減っているが、聞き取り後の申請書に代わっているのも、代用となる紙類の必要数等を精査した上で、計画的な購入に反映させていく。

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和6年5月16日

部局等名	市民部	課かい名	小出支所	推進責任者氏名	石井 亨
------	-----	------	------	---------	------

(1)目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減
------	-----------------------

【対象:全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」(実行計画P10～11)の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	A. エネルギー使用量の削減	施設の適切な室温管理及びOA機器の節電等を徹底し、エネルギー使用量の削減に努めた。引き続き取り組みを継続していく。
	具体的内容	施設の適切な室温管理及びOA機器の節電等を徹底する。	
2	取組項目	C. 廃棄物の削減	事務用品の購入は必要最低限に留め、使用できるものは再利用に努めた。ごみの分別を徹底し、量も削減するよう継続していく。
	具体的内容	事務用品の計画的な在庫管理と可能な限りの再利用を図る。また、執務室内のごみの分別を徹底するため、ごみ箱に分別表示を設置する。	
3	取組項目	B. 資源の有効利用	両面印刷や裏紙利用の利用を進めた。引き続き印刷物の必要性について考え、削減できるよう取り組みを継続していく。
	具体的内容	印刷物の必要性及び適正部数も見直すなど更なる削減を図る。また、紙の再利用を徹底する。	

【対象:グループ2(所管施設のある課かい)】 ※算定範囲は所管施設全て(グループ4(市立小中学校)、グループ5(指定管理施設)を含む)

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

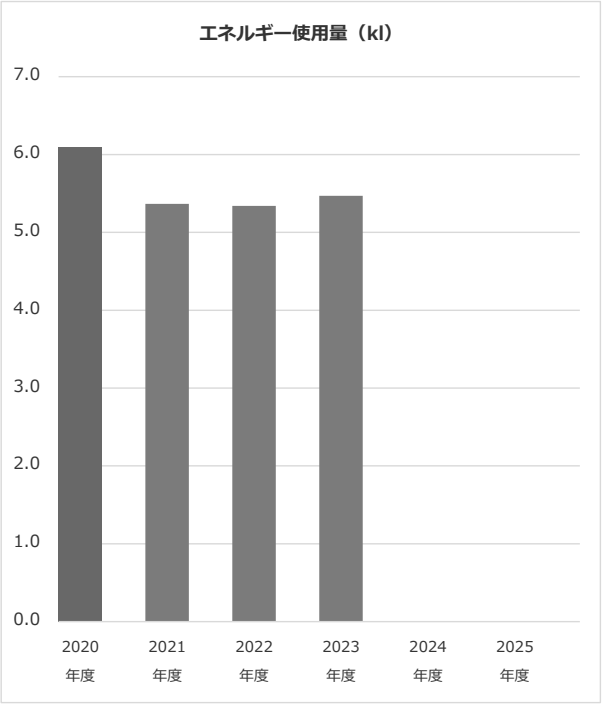
実績	前年度比	2.4 %	達成状況	■ 未達成
達成/未達成の理由	昨年度までは新型コロナウイルス感染症のため施設利用が少なかったが、今年度は会議室等の利用も増え、さらに猛暑による空調の稼働率も上がったことにより目標は達成できなかった。			

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量(GJ)	236.0	208.0	207.0	212.0		
エネルギー使用量(kl)	6.1	5.4	5.3	5.5	0.0	0.0
対前年度比(%)	—	-11.9%	-0.5%	2.4%	-100.0%	#DIV/0!

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組(実行計画P8)

No.	対象施設	計画／実施状況	
1	小出支所	計画	施設利用者へ空調、照明利用の省エネ協力を依頼する。
		実績	各部屋に省エネ協力の掲示を行い、空調の温度設定は職員が管理するよう徹底した。
2		計画	
		実績	
3		計画	
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

(2)職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	6月8日に実施（対象者6名全員参加）。G-EMSの概要と当年度の「重点確認項目」について確認するとともに、課かいにおける取組目標及び具体的な取組を検討し設定した。
法令遵守確認研修	■ 実施	6月8日に実施（対象者6名全員参加）。支所において環境法令に該当するフロン排出抑制法及び浄化槽法について周知を図った。
新任・異動者研修	■ 該当なし	
	（選択してください）	

(3)指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
☐ 関係する指定管理者・委託業者はない ☒ 要望伝達・協力要請が実施されている ☐ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4)公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
☐ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った ☐ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日 令和6年5月16日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
職員の環境意識も高まり適切な室温管理及び節電を徹底しているが、エネルギー使用量前年比が増加してしまった。資源の有効利用及び廃棄物の削減については各自積極的に取り組むことができている。	引き続き環境に関するニュースや他の職場の現状等を職員で情報共有を図り、自発的に環境に配慮した取り組みができるよう研修等の機会を作っていく。

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和6年5月17日

部局等名	市民部	課かい名	小出支所	推進責任者氏名	石井 亨
------	-----	------	------	---------	------

(1)目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減
------	-----------------------

【対象:全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」(実行計画P10～11)の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	A. エネルギー使用量の削減	こまめなスイッチオフで電気使用量を必要最小限にした。また、施設の節電・エネルギー使用料の削減に努めた。取り組みを継続していく。
	具体的内容	施設の適切な室温管理及びOA機器の節電等を徹底する。	
2	取組項目	B. 資源の有効利用	印刷物について、両面印刷や裏紙利用を進めた。あわせて、資料の共有化を進めた。引き続き取り組みを継続していく。
	具体的内容	印刷物等は、適正部数の印刷を徹底する。また、裏紙再利用ボックスを利用し、紙の再利用を行う。	
3	取組項目	C. 廃棄物の削減	必要最小限の購入にとどめ、使用できるものは、再利用に努めた。従事職員で、取り組みを継続していく。
	具体的内容	物品は、計画的に購入し適切に在庫管理を行う。また、事務用品の共有化及び再利用を行う。	

【対象:グループ2(所管施設のある課かい)】 ※算定範囲は所管施設全て(グループ4(市立小中学校)、グループ5(指定管理施設)を含む)

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

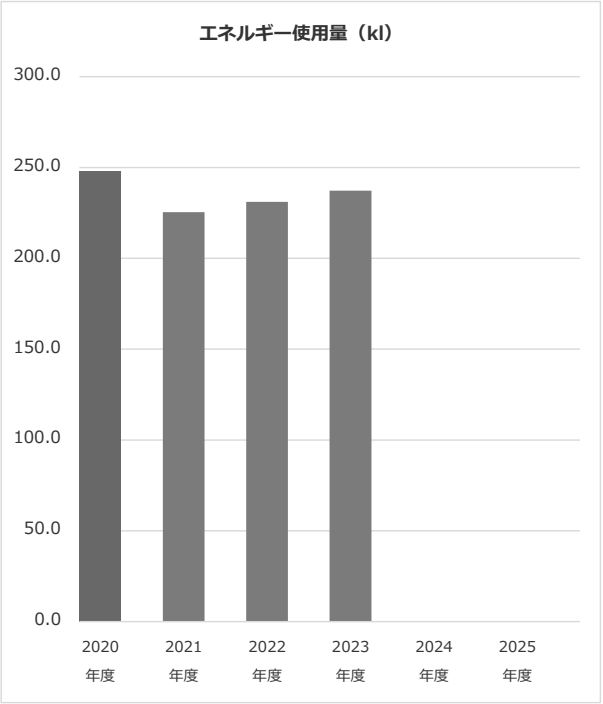
実績	前年度比	2.6 %	達成状況	■ 未達成
達成/未達成の理由	前年度に比べ火葬件数の増加及び猛暑による空調の稼働率も上がったことにより目標は達成できなかった。			

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量(GJ)	9613.0	8739.0	8957.0	9194.0		
エネルギー使用量(kl)	248.0	225.5	231.1	237.2	0.0	0.0
対前年度比(%)	—	-9.1%	2.5%	2.6%	-100.0%	#DIV/0!

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組(実行計画P8)

No.	対象施設	計画／実施状況	
1	斎場	計画	利用者に空調、照明利用の省エネルギーの取り組みへの協力を依頼する。
		実績	省エネ協力の掲示を行い、職員が、空調の温度設定は管理した。
2		計画	
		実績	
3		計画	
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

(2)職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	6月14日、15日に分けて実施（対象者5名）。G-EMSの概要と当年度の「重点確認項目」について確認するとともに、課かいにおける取組目標及び具体的な取組を検討し設定した。
法令遵守確認研修	■ 実施	6月14日、15日に分けて実施（対象者5名）。環境法令に該当するフロン排出抑制法及び大気汚染防止法について周知した。
新任・異動者研修	■ 該当なし	
	(選択してください)	

(3)指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
☐ 関係する指定管理者・委託業者はない ☒ 要望伝達・協力要請が実施されている ☐ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4)公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
☐ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った ☐ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日 令和 6 年 5 月20日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
電気及び燃料の高騰の影響もあり、従事職員の環境意識が高まり適切な室温管理及び節電管理を徹底したが、火葬件数の増加、猛暑及び極寒の影響もありエネルギー使用量が増加してしまった。	引き続き、環境に配慮し継続して節電・省エネルギーの取り組みをすすめていく。従事職員で現状について情報共有を図って節電、省エネルギーを進めていく。

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和6年5月22日

部局等名	市民部	課かい名	収納課	推進責任者氏名	谷川 広志
------	-----	------	-----	---------	-------

(1)目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減
------	-----------------------

【対象:全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」(実行計画P10～11)の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	A. エネルギー使用量の削減	職員の突然の休職などが重なり、結果として課全体としての時間外勤務の削減はできなかった。
	具体的内容	ノー残業デーの実施の徹底など時間外勤務の時間の削減により、照明・PC等の使用を縮減する。	
2	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	公用車でのアイドリングストップ及びエコ運転を徹底した。また、可能な限り、自転車等も活用した。
	具体的内容	公用車で現地調査・臨場の際、アイドリングストップを徹底し、また、走行中の「エコ運転」を行う。	
3	取組項目	B. 資源の有効利用	ロゴチャットを活用しての情報の共有などを積極的に行い、紙資源の削減に結び付けた。
	具体的内容	電子入札の利用や業務におけるロゴチャットの活用により、紙資源の削減を推進する。	

【対象:グループ2(所管施設のある課かい)】 ※算定範囲は所管施設全て(グループ4(市立小中学校)、グループ5(指定管理施設)を含む)

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

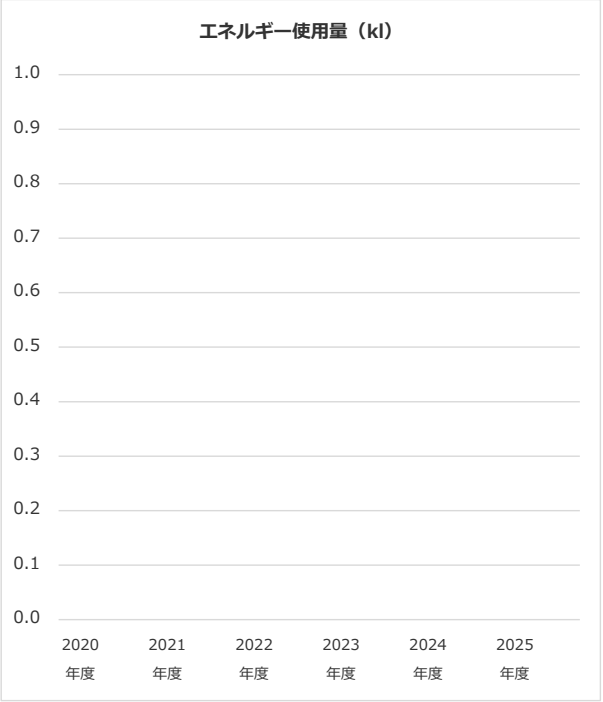
実績	前年度比	%	達成状況	(選択してください)
達成/未達成の理由				

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量(GJ)						
エネルギー使用量(kl)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
対前年度比(%)	—	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組(実行計画P8)

No.	対象施設	計画／実施状況	
1		計画	
		実績	
2		計画	
		実績	
3		計画	
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

(2)職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	6月15日に実施。窓口課であること、部分休業を取得する職員が多いことから、対象者を絞り「重点確認項目」等を確認した。その他の職員には周知を行った。
法令遵守確認研修	■ 該当なし	
新任・異動者研修	■ 該当なし	
	(選択してください)	

(3)指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
☐ 関係する指定管理者・委託業者はない ☒ 要望伝達・協力要請が実施されている ☐ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4)公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
☐ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った ☐ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【推進責任者による評価】

記入日 令和6年5月22日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
重点取組項目については、職員の突然の休職が重なるなどして絶対的なマンパワーが不足し、また、処理期限が限られている業務が大半であることから現存の職員での対応が不可欠であるため、時間外勤務時間の削減を達成することはできなかった。しかし、その他の取組項目については、順当に達成できたと考えられる。	新年度に向けては、今年度の危機的な状況を踏まえ、改めて業務の改善や体制の再構築などを行い、(仮に今年度と同じような状況に置かれたとしても)今年度に比べて時間外勤務の時間の削減に結び付けていきたい。

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和5年6月5日

部局等名	市民部	課かい名	市民税課	推進責任者 氏名	伊東 仁弘
------	-----	------	------	-------------	-------

(1)目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減
------	-----------------------

【対象:全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」(実行計画P10～11)の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	A. エネルギー使用量の削減	各業務の効率化を図るため、現在の業務の見直し及び効率的な業務の検討を行った。 会計年度任用職員に業務依頼、RPA等を活用することで時間外勤務の縮減を図ることができた。 繁忙期以外は残業せずに帰宅する風土が整ってきている。 今後も、更なる業務効率化を検討していく。
	具体的内容	効率的に業務遂行を行い、できる限り残業を削減する意識を醸成する。ノー残業デーは定時で帰宅しやすい環境を作る。	
2	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	職員各自、働きやすい服装を意識し、エネルギー使用量の削減、体調管理を行っている。
	具体的内容	クールビズ・ウォームビズを活用し、エネルギー使用量を控えて働きやすい服装で業務を行う。	
3	取組項目	C. 廃棄物の削減	消耗品の在庫管理・事務用品の収納場所を整理し、必要なものと不要なものを選別した。余剰の材料の購入は見直され、必要な分の把握等、効果的な活用を行うことができた。 ロゴチャットの活用により、紙の利用削減を推進した。
	具体的内容	毎年行う確定申告事務の業務を効率化し消耗品などの事務用品を見直す。物品を整理して使えるものは再利用する。ロゴチャットの活用により、紙の利用削減により廃棄物削減を実施する。	

【対象:グループ2(所管施設のある課かい)】 ※算定範囲は所管施設全て(グループ4(市立小中学校)、グループ5(指定管理施設)を含む)

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

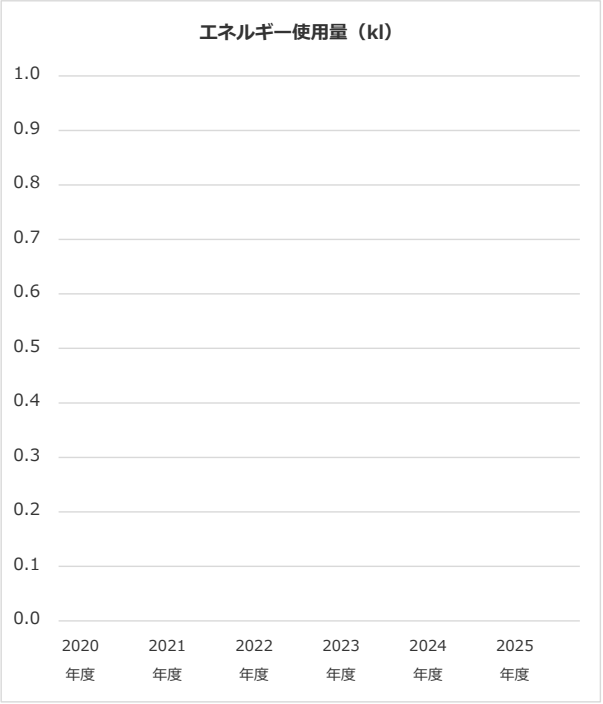
実績	前年度比	%	達成状況	(選択してください)
達成/未達成の理由				

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量(GJ)						
エネルギー使用量(kl)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
対前年度比(%)	—	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組(実行計画P8)

No.	対象施設	計画／実施状況	
1		計画	
		実績	
2		計画	
		実績	
3		計画	
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

(2)職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	当初賦課事務の繁忙期により全課員を集めての研修の実施が難しいため、ロゴチャット及び資料閲覧により開催。
法令遵守確認研修	■ 該当なし	
新任・異動者研修	■ 実施	取組目標設定研修の確認と同時に行った。
	(選択してください)	

(3)指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
☐ 関係する指定管理者・委託業者はない ☐ 要望伝達・協力要請が実施されている ☐ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4)公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
☐ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った ☐ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【推進責任者による評価】

記入日 令和6年5月21日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
目標はおおむね達成できている。 時間外勤務の縮減については、各職員で工夫し、協力し合える環境づくりができてい る。 ロゴチャットの活用により、エネルギー使用量の削減及び資源の有効活用の両方を図 れている。 実績に関する評価は、高く評価できるものである。	エネルギー使用量の削減に向けて今後も職員の意識を醸成し続けていく。 自発的に行動できるように、職員一人一人の行動がエネルギー使用量の 削減につながるように課内で協力し活動を続けていく。

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和5年6 月9日

部局等名	市民部	課かい名	資産税課	推進責任者 氏名	藤木 徹也
------	-----	------	------	-------------	-------

(1)目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減
------	-----------------------

【対象:全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」(実行計画P10～11)の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	A. エネルギー使用量の削減	土地・家屋の評価替のため現地調査に出動することが多かったが、自転車の利用促進を図った。
	具体的内容	・近郊の現場調査には自転車を利用し、公用車の利用の削減をはかります。	
2	取組項目	B. 資源の有効利用	会議時間短縮のため、会議資料の事前配布、会議に要する時間を短めに設定した。資料を事前に配布及び議論のポイントを事前共有した。また会議資料は意識共有が図れる程度に簡略化するなど、会議準備にかかる時間の短縮も図った。
	具体的内容	・会議等の資料を精査し、必要最低限の数にします。	
3	取組項目	C. 廃棄物の削減	一年間通じて遂行することが出来た。
	具体的内容	封筒等内部に向けたものは、繰り返し使用します。	

【対象:グループ2(所管施設のある課かい)】 ※算定範囲は所管施設全て(グループ4(市立小中学校)、グループ5(指定管理施設)を含む)

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

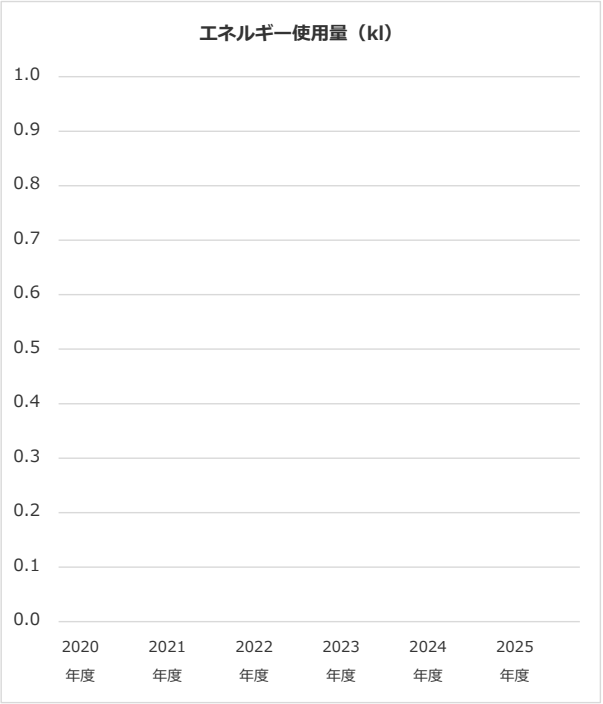
実績	前年度比	%	達成状況	(選択してください)
達成/未達成の理由				

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量(GJ)						
エネルギー使用量(kl)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
対前年度比(%)	—	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組(実行計画P8)

No.	対象施設	計画／実施状況	
1		計画	
		実績	
2		計画	
		実績	
3		計画	
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

(2)職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	課内研修を実施（対象者24名中22名参加。不参加者には別途決定事項を周知）。C-EMSの概要等について研修資料により説明を行い、5年度の取組目標について検討するとともに、課内における具体的な取組を検討した。
法令遵守確認研修	■ 該当なし	
新任・異動者研修	■ 該当なし	
	（選択してください）	

(3)指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
☐ 関係する指定管理者・委託業者はない ☐ 要望伝達・協力要請が実施されている ☐ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4)公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
☐ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った ☐ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【推進責任者による評価】

記入日 令和6年5月17日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
具体的な対応策は取られているが、職員の環境活動に対する関心が徹底されていない部分もあり、次年度からは、独自でC-EMSを推進する際には職員自らの意識付けが重要であり、そのための具体的な対応が必要である。	課内研修で職員の意識付けを行うのは限界がある。職員各自で小さな案件でも環境への取り組みのアイデアがあれば、即課内で情報共有し、自発的な取り組み意識を育てる契機を即時に作っていく。